

## 第5回 定例会

- ・ 一般会計及び国保・後期高齢者医療  
介護保険特別会計決算を賛成多数で認定
- ・ 教育委員会委員に荒川裕子さん<sup>あらかわひろこ</sup>を任命同意

平成24年第5回那珂川町議会定例会は9月4日に開会し、会期を12日までの9日間と定め、一般質問、議案の審議、平成23年度決算の審査を行いました。

今期定例会に付議された事件は、財政健全化法に基づく報告、教育委員会に係る点検・評価の報告、教育委員会委員の任命同意、遺児手当支給条例の一部改正、一般会計、介護保険特別会計の補正予算、平成23年度決算認定など町長提出議案20件のほか、委員会提出議案1件が審議されました。

平成23年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、各会計の細部にわたり審査を行い、9会計すべての決算を認定しました。

なお、一般質問は、3人の議員が行いました。

## 報 告

### ◆平成23年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付され、平成23年度の決算に係る財政指数が報告されました。

指数は国の基準値以下となり、前年度の数値を下回ることとなり、健全段階であると判断されます。

健全化判断比率			
指 標	那珂川町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.35%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.35%	40.00%
実質公債費比率	10.00%	25.00%	35.00%
将来負担比率	17.30%	350.00%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「—(該当なし)」で表示しています。

なお、県内町の平均は、実質公債費比率が、9・5%、将来負担比率にあつては、38・1%となっています。

資金不足比率		
特別会計等	那珂川町	経営健全化基準
水道事業	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	
簡易水道事業特別会計	—	

※資金不足比率がない会計は「—(該当なし)」で表示しています。

### ◆町教育委員会 の点検・評価の報告

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会が所管する平成23年度の事務事業の管理及び執行状況について、学識経験を有する3人の評価委員により、点検・評価の結果が行われ報告されました。

## 人事案件

なお、内容は、町ホームページで公表しています。

### ◆人権擁護委員の推薦意見について

堀江喜代美さん<sup>ほりえきよみ</sup> (再任)

(全員賛成 原案可決)

堀江さんは、12月31日で任期満了となりますが、引き続き人権擁護委員に推薦することについて、議会の意見を求められたことから、異議なく賛同しました。

### ◆教育委員会委員の任命

荒川裕子さん<sup>あらかわひろこ</sup> (新任)

(全員賛成 原案可決)

教育委員の藤田峰子さんが11月28日をもって退任することに伴い、後任の教育委員に荒川裕子さん(馬頭)を任命することについて、議会の同意を求められたことから、異議なく賛同しました。

条 例

条例改正

◆遺児手当支給条例の一部改正  
(全員賛成 原案可決)

平成22年度の税制改正で15歳以下の年少扶養控除及び16歳から18歳までの特定扶養控除の上乗せ分が廃止されたことに伴い、遺児手当の支給に関し、影響が出ないよう条例の一部を改正しました。

補正予算

◆平成24年度一般会計補正予算  
(賛成多数 原案可決)

賛成12人、反対2人  
馬頭小学校体育館の耐震補強、大規模改修事業費のほか、災害対策経費などを補正するもので、総額2億6000万円を増額しました。

◆平成24年度介護保険特別会計補正予算  
(全員賛成 原案可決)

福祉用具購入費、住宅改修費などで1400万円を増額しました。

平成24年度一般会計及び介護保険特別会計補正予算

(単位：千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計	7,691,000	260,000	7,951,000
介 護 保 険 特 別 会 計	1,434,000	14,000	1,448,000

財産の取得

◆財産の取得

(全員賛成 原案可決)

○消防ポンプ自動車  
購入金額 1043万7330円

購入先

小山市(資) 渡辺商店  
配備先 第6分団第3部

○小型動力ポンプ自動車

購入金額

900万5970円

購入先

小山市(資) 渡辺商店  
配備先 第6分団第2部



更新される消防自動車  
(第6分団第3部)

計画変更

◆過疎地域自立促進計画の変更

(全員賛成 原案可決)

変更の内容

林道城間線整備事業を計画に追加することとした。



整備される林道城間線 (松野)

その他

◆平成23年度那珂珂川町水道事業未処分利益剰余金の処分

(全員賛成 原案可決)

地方公営企業法の一部改正により、剰余金の処分な

どの資本制度の見直しについては、議会の議決が必要となりました。

平成23年度決算

◆一般会計及び各特別会計等の決算を認定

すべての決算を認定

平成23年度の一般会計及び各特別会計の決算については、監査委員の意見が付され、9月5日の本会議に議案が提出されました。決算審査にあたっては、

議員全員で構成する決算審査特別委員会(委員長橋本 操議員)を設け、9月6日から11日まで、担当課長からの説明を受け、一般会計のほか各特別会計、水道事業の審査を行いました。

議会最終日の本会議において、橋本委員長が「原案のとおり認定すべきもの」との審査結果の報告を行いました。

## 認定にあたり 3項目の 意見を付ける

特別委員会では認定にあたって、

① 財政が厳しい中、税及び使用料等の収入未済額が年々増加傾向にある。徴収目標数値を定めるなど滞納整理対策の強化に努めること。

② 予算流用が多く見受けられるので、予算編成にあたっては十分な精査を行い、できるだけ流用がないようにすること。また、不用品が多額に上っている科目があるので、予算の執行を適切に行うこと。

③ 「平成23年度において、一般会計から特別会計に対しての繰出金が、9億3677万6千円となっている。繰出金は、一般会計の財政運営にも影響するので、特別会計への繰出金削減に努めること。

この3つの意見を付しました。



繰出金で  
なあに？

一般会計と特別会計との間において、支出される経費です。例として、一般会計から国民健康保険特別会計や簡易水道事業特別会計等に対して、事務費や建設費等の補助のために支出されるものです。

## 3人の議員 からは 少数意見も

益子輝夫議員、益子明美議員、小林 盛議員の3人から、次のような少数意見が出されました。

① 北沢の不法投棄物の処理を行うために県営の管理型処分場を設置することに反対であり、町が環境総合

推進室を設置し処分場推進のための事業を行うことは、真の住民福祉の向上にあたらぬ。

② 監査委員の審査意見にもあるとおり、一般会計から特別会計に基準をこえた多額の繰出金があり、その額は平成22年度よりもさらに9014万9千円増加しました。昨年度決算時にも早急な対策を講じるべきと指摘したが、23年度においてその成果は見られなかった。

一般会計の財政を圧迫する第一の要因でもある、特別会計への繰出金削減のための抜本的な対応を求める。」

その後、会計ごとに採決を行い、一般会計を賛成多数（賛成11人、反対2人、欠席1人）で、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計を賛成多数（賛成12人、反対1人、欠席1人）で、その他の特別会計及び水道事業決算を全員賛成で認定しました。

## 議員派遣

### ● 議員研修会

- 派遣場所 宇都宮市
- 派遣日時 10月9日
- 派遣議員 全議員

### ● 議員行政調査

- 派遣場所 神奈川県葉山町・東京都
- 派遣日時 10月22日
- 派遣日時 23日
- 派遣議員 全議員

## 陳情等

### ◆ 陳情等

国民健康保険への国庫負

担増額を求める陳情書

陳情者

栃木県社会保険推進協議会  
会長 大根田 紳氏

審査経過

教育民生常任委員会に審査を付託

審査結果 継続調査

教育民生常任委員会では、陳情の審査のため9月4日に委員会を開催し、陳情内容について慎重に調査するため継続調査としました。

## 決算に対する監査委員の審査意見

平成23年度一般会計・各特別会計・水道事業の決算について主に次のような審査意見が出されました。

### ◎ 一般会計及び特別会計

- 有利な町債を前提に、有効かつ効率的な運用を望む。
- 税の公平負担の原則に立った一層の努力を望む

特別会計については、繰入金によらず、独立採

算への方策を講じていくべきである。

・ 予算の編成は、事務事業実施計画と積算資料の収集・分析を行い、流用による対応や設計変更を避けられたい。

### ◎ 水道事業

・ 有収率（漏水防止など）の向上に努められたい。  
・ 健全で効率的な事業運営に努め、安全で良質な水の供給に万全を期すこと。

平成23年度各会計歳入歳出決算の内訳及び認定状況

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	認定結果
一般会計	9,547,561	8,686,097	861,464	賛成多数(賛成11人、反対2人)
特別会計				
ケーブルテレビ事業	376,435	364,928	11,507	全員賛成
国民健康保険	2,336,133	2,183,290	152,843	賛成多数(賛成12人、反対1人)
後期高齢者医療	171,924	166,352	5,572	賛成多数(賛成12人、反対1人)
介護保険	1,435,964	1,397,797	38,167	賛成多数(賛成12人、反対1人)
下水道事業	323,015	312,275	10,740	全員賛成
農業集落排水事業	47,434	45,778	1,656	全員賛成
簡易水道事業	241,176	232,860	8,316	全員賛成
合計	14,479,642	13,389,377	1,090,265	

水道事業	収入	支出	収入支出差引額	認定結果
収益的収入及び支出	229,623	194,126	35,497	全員賛成
資本的収入及び支出	86,928	182,656	△95,728	

※資本的収支における不足額は、当年度分損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金により補てん

町債の残高(借りているお金)

(単位：千円)

会計名	年度末残高
一般会計	8,774,698
特別会計	
ケーブルテレビ事業	928,988
下水道事業	2,271,966
農業集落排水事業	320,156
簡易水道事業	405,320
合計	12,701,128

水道事業(企業債)	994,501
-----------	---------

基金の状況(貯金しているお金)

(単位：千円)

基金の名称	年度末残高
一般会計	
財政調整基金	2,269,221
減債基金	592,732
合併振興基金	1,292,118
地域振興基金	1,098,729
土地開発基金	500,223
福祉基金	466,395
高額療養費資金貸付基金	3,000
教育文化基金	54,885
奨学基金	228,962
東日本大震災復興推進基金	86,690
小計	6,592,955
特別会計	
国民健康保険財政調整基金	2,396
介護給付費準備基金	65,490
介護従事者処遇改善基金	0
小計	67,886
合計	6,660,841

水道事業積立金

(単位：千円)

減債積立金	28,705
建設改良積立金	57,199
合計	85,904

昨年度と比較すると、基金(貯金)が約4億円増えて、町債(借金)が約5億円減りました。

町民1人当たりの基金(貯金)は、約35万5千円です。

町民1人当たりの町債(借金)は、約67万6千円です。

※水道事業を除いた額を、3月31日現在の住民基本台帳人口(18,779人)で除した額です。

採決で賛否がわかれた議案(20議案中5議案)を掲載しています。

議案名	平成24年度那珂川町一般会計補正予算の議決について	平成23年度那珂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	平成23年度那珂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年度那珂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年度那珂川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
佐藤信親議員	●	○	○	○	○
益子輝夫議員	●	●	●	●	●
塚田秀知議員	○	○	○	○	○
鈴木雅仁議員	○	○	○	○	○
益子明美議員	○	●	○	○	○
大金市美議員	○	○	○	○	○
岩村文郎議員	○	○	○	○	○
小林盛議員	○	—	—	—	—
福島泰夫議員	○	○	○	○	○
川上要一議員	○	○	○	○	○
阿久津武之議員	○	○	○	○	○
橋本操議員	○	○	○	○	○
石田彬良議員	○	○	○	○	○
小川洋一議員	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ※鈴木和江議長は採決に加わりません。 ※—は欠席です。

庁舎建設並びに  
消防庁舎建設検討特別  
委員会の経過

消防庁舎の建設場所は、「都付近」と意見を集約

▼第4回特別委員会の結果  
開催日 平成24年8月3日

中間報告として、意見を  
集約し消防庁舎の建設場所  
は「都付近」との中間報告  
書をまとめました。

◎鈴木議長名で大金町長に  
対し、庁舎建設並びに消防  
庁舎建設検討特別委員会中  
間報告書を提出



中間報告書を提出する鈴木議長

提出日 平成24年8月24日  
鈴木議長、鈴木副議長、  
大金委員長、小川副委員長  
の4人が出席し、大金町長  
あてに中間報告書を提出しま  
した。

▼第5回特別委員会の結果  
開催日 平成24年8月27日

中間報告の報告と役場庁  
舎の建設場所についてどの  
ように進めていくか、委員  
会で検討し、その結果、執  
行部に対して住民説明会  
を開催してほしい旨、文書  
で要請することになりま  
した。  
要請日  
平成24年8月31日付

▼第6回特別委員会の結果  
開催日 平成24年9月11日

9月10日、執行部から、  
中間報告書に対する報告が  
あったので、各委員にその  
内容について、お知らせし  
ました。

なお、9月12日に大金町  
長から議会に対して「都付  
近」で事業を進めるとの報  
告がありました。

議会改革特別  
委員会を開く

第1回の議会改革特別委  
員会（鈴木雅仁委員長）を  
10月16日に開催しました。  
最初の会議でもあり今後  
の調査の進め方について、  
協議を行いました。

また、神奈川県葉山町に  
行政調査に行くことから、  
事前に葉山町の議会改革の  
内容について、検討を行  
いました。



第1回の議会改革特別委員会

一般質問 ここが聞きたい!

紙面の内容は、質問・答弁とも質問者自らが  
要約、執筆したものを掲載しています。

第5回町議会定例会では、3議員が町政をただしました。

益子輝夫 議員 ①住宅リフォーム助成制度について  
②町の施設の統廃合と廃止について  
③町の新しい防災計画について  
④役場庁舎建設について

益子明美 議員 ①都会又は他県からの移住者政策について  
②保育所等再編整備計画について  
③特別支援教育の推進について

鈴木雅仁 議員 ①青少年旅行村の活用について  
②プラットフォーム事業の継続について